



旅する公務員

第15弾

埼玉県 横瀬町
町民課 渡部 航

「旅する公務員」とは？

◆ 「A面」的 目的

磐梯町役場の情報システムクラウド化により
テレワーク環境が整ったことから
磐梯町と交流のある自治体などに職員を派遣し
実際に旅をしながら
テレワークをすることで生じる問題を顕在化させ
ひとつひとつ障壁を解消していく。

◆ 「B面」的 目的

自治体間の交流を推進し
互いの先進事例を共有することにより
地域課題の解決を図る。



「旅する公務員」第15弾の概要

旅した期間 2023年11月6日（月）～2023年11月10日（金）

旅した職員 町民課保健福祉係 副主査 渡部 航

旅した場所 埼玉県 横瀬町

1 日 目

- 磐梯町駅出発時に遅延がありましたが、無事予定通り横瀬駅に到着。
- 13時からまち経営課長さんへあいさつ後、福祉介護課長さんにご案内いただき、各課へあいさつ。
- 役場全体が明るい雰囲気の仕事されている印象でした。
- まち経営課の方に町内を案内いただき、各施設等において丁寧な説明をしていただきました。横瀬町のシンボルである武甲山の迫力に圧倒されました。



案内いただいた施設等①

- アスタバ

売店だったところを休憩所に改装しており、合板を使われており統一感がありました。自販機ではジビエなどの商品が購入できるようになっていました。

- 道の駅果樹公園あしがくぼ

- あしがくぼ笑楽校（旧芦ヶ久保小学校）

閉校した学校を利用した多目的施設で、映画撮影や親子の遊びの場などさまざまな用途で利用されています。掲示物などそのまま残されており、エモーショナルな雰囲気でした。

アスタバ外観





案内いただいた施設等②

- 寺坂棚田
埼玉県内最大級の棚田。耕作放棄地となっていた田もオーナー制度や棚田学校などの事業を行い、棚田の保全がされています。また、彼岸花まつりなど観光客が集まる事業が展開されています。
- 花咲山公園“みんなでつくる、人が集う花咲く美しい山”
有害鳥獣なども発生していた山を整備し、ボランティア活動により花木を植えられています。
美大と連携し、見晴台や長椅子などの整備がされていました。

寺坂棚田

案内いただいた施設等③

- 横瀬ジビエ製造場
- 横瀬町観光案内所・駅前食堂
- エリア898・899
 - 1階がエリア898、2階は899と
なっていて、エリア898では、フリー
スペースもあり勉強、仕事を行っている
方々がいました。
- LAC横瀬
- NAZELAB
- キッチンENgaWA
 - 地域おこし協力隊が所属し、商品販売
など行っています。

LACの2階にあるAREA898



2日目

- 横瀬町役場内でテレワークをメインに行いました。

現状では、できる仕事に限られ、事前に準備が必要と感じました。

また、情報交換も行い、お互いの町での取り組みを共有しました。

有名なアニメの舞台となっている大慈寺
横瀬町はアニメの聖地のようです。



3日目

- 総合福祉センターで、はつらつ体操教室に参加しました。参加者の方々がとても元気で活気ある教室でした。先生もエネルギーのある方で、皆さん楽しく取り組んでいました。

- 午後は移動スーパーに同行。
9月から開始した事業で週5日コースを変えて各9か所をまわっています。
各停留所に来た方たちは買い物のと話ししていたり、楽しんでいらっしゃいました。



4日目

- 秩父地域1市4町（秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町）

「ちちぶで鳴らそう！障がいのある方向け打楽器ワークショップ」に準備から参加させていただきました。

参加者の方々がそれぞれ選んだ打楽器で楽しんでいました。

自立支援協議会も広域で開催しており、合同で様々な取り組みを行っているとのことでした。

“日本で一番歩きたくなる町プロジェクト”
様々なウォーキングイベントが実施されています



5日目

- 午前中テレワークをし、12時に横瀬町役場出発。

町長、副町長不在だったので、役場の皆さんにあいさつさせていただき、名残惜しかったです。横瀬町役場をあとにしました。

- 帰りは予定通りに磐梯町へ帰ってこられました。

福祉介護課の皆さん



「A面」的 目的について

◆ 目的

磐梯町役場の情報システムクラウド化によりテレワーク環境が整ったことから磐梯町と交流のある自治体などに職員を派遣し実際に旅をしながらテレワークをすることで生じる問題を顕在化させ、ひとつひとつ障壁を解消していく。

◇ 感想

業務内容によってはテレワークでも支障がない場合もあると思われるが、窓口対応が多い課（町民課など）のテレワークは現状難しい。

また、ペーパーレスに体が慣れていないこともあり、出力し紙ベースで見たいなと感じることが多かった。

課題

- 1人1担当であり、担当のテレワーク時、窓口対応に困る。
対応方法の共有、調整が必要となり、周りの職員に負担がかかる。
- 基幹系端末に入っているシステムを操作できないため、できる業務が限られる。（例：福祉サービス関連）
- 会計システムが使えないため、伝票の起票やシステム上のデータを見ることができない。
- 紙ベースで文書を保管しているため、メールが整理しづらく件数が溜まっていく。

「B面」的 目的①

横瀬町の事業で、情報交換や実際に同行させていただいたものを報告します。

①移動スーパー

ドラッグストアと提携し、月曜日から金曜日の5日間、各コースを運行していました。車での移動が大変だったり買い物に行く手段がない方や、将来的に買い物に行くのが難しくなることを想定し今のうちから利用しているという方が買い物に来られていました。また、オンラインでの相談や希望商品取寄せ（事前連絡）など買い物しやすい仕組みになっていました。



「B面」的 目的②

②障がいのある人たちの作品展

写真や手工芸品などの作品を募集し、展示しているそうです。

施設へ入所されている方の作品や、写真クラブと連携し出品されています。

③ボッチャ交流大会

ボッチャはパラリンピック正式種目となっているニュースポーツです。横瀬町では体験教室・交流大会を行っているそうです。

今年度、磐梯町でも余暇活動として開催しましたが、横瀬町では障がい者のみでなく、高齢者も参加でき、良い交流の機会ともなっています。



最後に

福祉介護課のみなさま、お忙しい中受け入れていただきありがとうございました。横瀬町の取り組みや、情報交換を通じて学んだことは大変勉強になりました。

また、他の課の方にも情報交換や交流していただき、楽しく学ぶことができました。

次回はプライベートで行きたくなるような素敵な町でした！関わっていただいたみなさま、ありがとうございました！





以上

「旅する公務員」第1弾
埼玉県 横瀬町

報告を終わります。

磐梯町役場 町民課
渡部 航

